

---

東北芸工大 日本高等教育評価機構の大学認証評価で「適合評価」  
多くの点で「優れた取組み」に選定

---

東北芸術工科大学(山形市上桜田/学長 中山ダイスケ)は、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学認証評価の結果、前々回(2008年度)、前回(2015年度)に引き続き「適合」と認定されました。



公益財団法人日本高等教育評価機構より付与された認定マーク

大学認証評価は、学校教育法ですべての大学が定期的な受審が義務付けられている、第三者による客観的な評価で、研究・教育が適切に行われているかをチェックする公的な仕組みとして設けられています。審査においては、書面による審査のほか、実地調査、法人役員・大学教職員に対する面接、学生インタビューなどが実施されました。

また、当機構では評価結果(「適合」/「不適合」と併せて、受審大学の「優れた取組み」についても公表しており、本学は別紙のとおり12件が取り上げられました。これは、2022年度に受審した67大学のなかでも極めて多く、本学の教育活動が高く評価されたものと自負しております。

つきましては、本件を県民市民の方々にも広くお知らせいただければ幸いです。

認証評価機関：公益財団法人 日本高等教育評価機構

認定期間：2022年4月～2029年3月

評価結果：「適合」

認証評価結果(日本高等教育評価機構 Web サイト)

[https://www.jiheer.or.jp/achievement/archive\\_year/](https://www.jiheer.or.jp/achievement/archive_year/)

■本件に関するお問い合わせ先

東北芸術工科大学 企画調査室 TEL：023-627-2219 / FAX：023-627-2081

## ■令和4(2022)年度 東北芸術工科大学の「優れた取組み」

基準	基準項目	優れた点
学生に関すること (5件)	学修支援	学科・コースごとに「学科・コース担当職員」を配置し、教学1課及び教学2課所属の副手と連携して教育活動について多面的に支援している点
	キャリア支援	学科別にキャリアセンター職員を配置し、学科教員とキャリアセンター職員が綿密に情報共有を行って学科の特性に応じたきめ細かいキャリア支援に当たっている点
	学生サービス	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、学生の学外活動が制限されたことに配慮し、臨床心理士である専任研究員のもと、心のケアを必要とする学生を個別にサポートする基盤を強化していること
		新入生に対して大学生の精神的健康調査 UPI を実施し、精神的健康度が低いと判断される学生へ早期に呼掛けるなど、能動的な支援に取り組んでいること
学長会のもとに副学長、学生部長を中心とする「学生支援ワーキンググループ」により学生支援に対する全学方針を策定した上で、組織の垣根を越えてチームとして学生をサポートする体制を築いている点		
教育課程に関すること (1件)	単位認定、卒業認定、修了認定	ディプロマ・ポリシー達成の確認のため、学期ごとの単位修得状況や GPA の推移を視覚化した「パーソナルスコア」と、卒業時のディプロマ・ポリシー達成度を視覚化した「学修成果状況」を学生に配付していること
教員・職員に関すること (3件)	教員の配置・職能開発等	専任教員の業績評価について、教員ポートフォリオの作成・提出を義務付け、業績評価結果に基づき、処遇等へ反映させている点
		学生 FD 委員を任命し、半年に一度、FD 委員の教員と学生 FD 委員の意見交換の場を設け、学生から率直な意見を取入れ、FD 活動の質向上に努めている点
	職員の研修	「役割等級制度」「評価制度」「報酬制度」から成る体系的な「職員人事給与制度」を構築し、「職員ポートフォリオ」とそれに基づく年次評価、評価の透明性・公正性を高める「合議評価会議」などの運用により、職員の資質・能力向上を図っている点
経営・管理と財務に関すること (3件)	経営の規律と誠実性	環境保全への配慮として、「BEMS」を導入し、キャンパス全体のエネルギー使用量の削減・効率化を実現している点
		上水道が停止した場合にも飲料水を確保できるよう、井戸水を利用した災害用配管を整備している点
	財務基盤と収支	受託研究の受入れは、全体的に増加傾向が認められるなど順調に推移し、外部資金獲得の面のみならず、教育・研究の成果を地域・社会に還元する趣旨においても着実に成果を挙げていること